

# 「和木町地域協育ネット」基盤整備に向けて

【和木町 和木中学校区】

## 地域の概要

和木中学校区は、山口県の東端、小瀬川を挟んで広島県との県境に位置します。海岸沿いにコンビナートがあり、化学工業が盛んな地域です。

校区には保育所・幼稚園・小学校・中学校が1つずつあり、学校同士の連携も取りやすい状況にあります。また、地域住民も学校や町の行事等に大変協力的です。

|                 |          |       |
|-----------------|----------|-------|
| 人 口             | 6,592 人  |       |
| 世 帯 数           | 2,774 世帯 |       |
| 対象校及び<br>児童・生徒数 | 和木中学校    | 197 人 |
|                 | 和木小学校    | 418 人 |

## 組織の内容

既存組織の社会教育委員会議を推進母体（地域協育ネット協議会）とし、複数のコーディネーターを配置する方向で検討しています。既に、地域による学校支援は、それぞれ独自に進められており、関係団体をつなぐかたちで、「地域協育ネット」としての組織化を図っています。

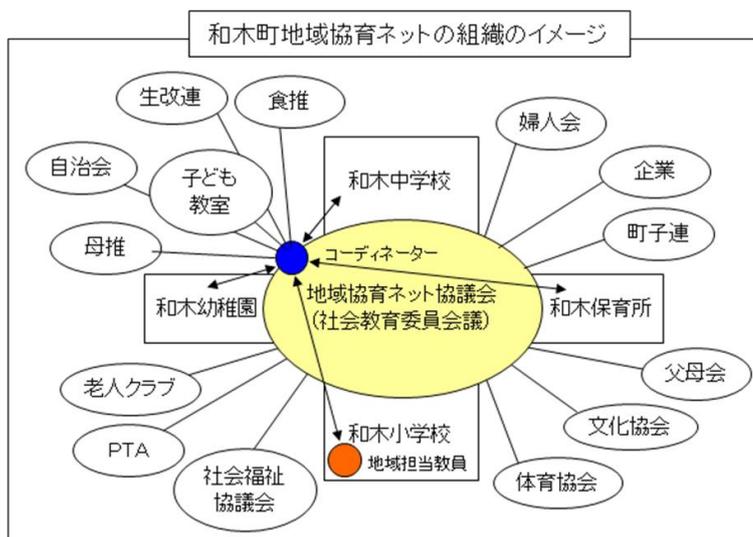
放課後子ども教室の活動は軌道に乗っており、コーディネーターを中心に指導者及び安全管理員等、地域住民の支援を受けて運営されています。この支援体制をモデルに「地域協育ネット協議会」で課題を共有しつつ具体的な支援につなげています。

幼・小・中の連携については、教職員の合同研修会において計画的に進められています。この研修会は、心の教育の推進に向けて3つの部会（「言葉」「つながり」「規律や規範」にかかわる部会）

を編制し、幼・小・中それぞれにおいて実践するための具体的な取組についての共通理解を図っています。特に、「つながり」にかかわる部会においては、協働実践の具体的な内容を保護者や地域へも周知させ、家庭や地域と連携した取組が進められています。

「幼児期から15年間の子どもたちの育ちを地域ぐるみで見守り、支援する」という視点から、本町における子育て支援の核となる組織である母子保健推進協議会との連携も必要です。当協議会の推進員の多くは幼・小・中のPTA役員を経験しており、その経験を踏まえた効果的な相談活動を行っています。

今後、地域協育ネットとしての組織化を図り、それぞれの活動をつなげ、課題を共有し、より効果的な取組になるように進めていきます。



|               |           |          |
|---------------|-----------|----------|
| ネット協議会<br>の構成 | 学校関係者     | 4 人      |
|               | 地域団体関係者   | 7 人      |
|               | P T A 関係者 | 4 人      |
| コーディネーター      |           | 5 人 (予定) |
| ボランティア        |           | 未登録      |

## 主な活動の紹介



### ○子育て支援

地域住民のボランティアによる「子育てサロン」や「子育て支援センター」、あるいは、母子保健推進協議会の「子育て輪づくり」等様々な活動が行われています。

### ○放課後等の支援

放課後子ども教室やPTA主催事業等、地域の人材を活用した様々な取組が実施されています。

### ○学校支援

小学校では、毎日の登下校の見守りだけでなく定期的に行われる読み聞かせや自然観察等を、中学校でも、毎年、地域の方々を講師としてお招きし「ふれあい交流教室」を行っています。縄ないをはじめ布草履づくりやニュースポーツ等、様々な活動がありますが、60名近い方の協力が得られています。

これまでは、コーディネーターが配置されていなかったため、小・中学校がそれぞれ個別に地域の団体に依頼し、様々な活動を実施してきました。今後は、これまでのつながりを大切にしつつ、コーディネーターを中心に、より組織化・効率化を図っていきます。

## 今後の取組

- 学校支援、家庭教育支援、そして、放課後等の支援で中心的な役割を果たしておられる方々を今後コーディネーターとして配置し、推進母体である社会教育委員会議に統括コーディネーターを位置付け、コーディネーター同士の連携を深め、それぞれを機能させていきます。
- 支援体制の充実を図るために、現在組織化されていないボランティアの登録も進めていきます。
- 地域の自然や歴史について学べる事業の企画や指導者の発掘・育成に努め、子どもたちが故郷に誇りと愛着のもてる取組を学校に提案します。
- 子育て支援に取り組める体制を整えるために、福祉部局との連携を強化します。

## コーディネーターさんにインタビュー

Q：コーディネーターをするようになったきっかけは何ですか？

A：そもそものきっかけは安全管理員として放課後子ども教室推進事業にかかわったことです。その後徐々に役割が増すとともに、仲間の協力も得られたこともあり引き受けることになりました。